

「活動」や「参加」をひろげる
機器やサービス

ひらけ！可能性の扉



5月31日（金）
14:30-16:30

会場

K-NIC

幸区大宮町1310番
ミュージアム 川崎セントラルタワー5階

第1部
講演
14:40から

「本当の可能性に、アクセスする。」

テクノツール株式会社 代表取締役 島田 真太郎氏

1994年創業以来、PCやスマートフォン等への入力操作をアシストすることにより、肢体不自由者の働く、学ぶ、遊ぶなど様々な場面における自己実現や社会参加を後押ししてきた。近年ではテレビゲームの操作支援も手掛け、Nintendo Switch公式の障害者向けコントローラー「Flex Controller」の開発監修および販売も担当。

テクノロジー活用をより直接的に社会経済参加へ結びつけるため、2023年12月に就労継続支援B型事業所「テクノベース」を開設。

「共創から生まれる車椅子利用者用レインウェア製品化プロジェクト」

株式会社ケアウィル 代表取締役 笈沼清紀氏

ユーザーと共に、介護・リハビリ・医療の従事者、デザイナー、服の作り手といった各領域のプロフェッショナルが「服の不自由」という共通の課題を解決するために協働し、ものづくりを行う。『洗濯ネットバッグ』は脱衣所に置き、そのまま洗濯できるバッグ型の洗濯ネット。手や腕に不自由があっても小さな力、小さな動きで開閉が可能で洗濯支援ツールとして令和4年度のかわさき基準(KIS)に認証。市制100周年に向けた提案事業ではレインウェア開発にも取り組んだ。

株式会社ePARA

eスポーツを通じた障害者の社会参加支援

ダンウェイ株式会社

能力の見える化「シームレスバディ®」で、誰もが働くことにチャレンジできる社会を目指す

ファシリティジャポン株式会社

視覚、動作、認識のニーズに応じてウェブサイトの表示を最適化

講演いただく2社を加えた5社による
プレゼン後、各ブースに分かれて
参加者と発表者との意見交換を行います。

第2部
ポスター
セッション
15:10から

川崎市では、東京工業大学、産業技術総合研究所と連携して運営する「ウェルテック」を拠点として、市内企業等の福祉機器・用具開発を支援しています。

今回「ウェルテック」と川崎市総合リハビリテーション推進センターが連携し、障害者の活動の可能性をひろげる取組や製品・サービスを開発する企業と、地域リハビリテーションに取り組む理学療法士、作業療法士言語聴覚士などの専門職をはじめとする現場職員や障害者雇用を進める企業とが、共に語り合い、多様な視点から新たな製品開発等につなぐことを目的とした勉強会を開催いたします。

福祉関係者のみなさま、開発企業のみなさま、奮ってご参加ください

申込み



←申込みはこちらから

主催：川崎市・東京工業大学・産業技術総合研究所

問合せ：

ウェルテック

電話：044-223-6468

E-mail：info@kawasaki-weltech.com

川崎市経済労働局イノベーション推進部

電話：044-200-3226

E-mail：28innova@city.kawasaki.jp